

内容(予は要予約)	とき		対象(対は対象)
	日	時間	
親子健康手帳交付	29日(月)	9:45集合	妊婦
	16日(火)	13:30集合	
パパママ教室(1回目)	29日(月)	10:30~11:30終了	主に妊娠6か月ごろまでの初妊婦とその夫
予 パパママ教室(2回目) ※予約は土日のみ	31日(水)	13:15受付~15:30終了	主に妊娠7か月以降の初妊婦とその夫
	13日(土)	9:15受付~11:30終了	
予 妊婦訪問	訪問は予約制です。 (希望者は保健推進課へ連絡してください)		妊婦(訪問は妊娠中1回)
こんにちは 赤ちゃん訪問	3~4か月児健診受診前		すべての赤ちゃんとその保護者 (里帰り出産で市内滞在中の人も対象となります)
転入者予防接種等 説明会	24日(水)	10:00集合	主に7歳未満の子がいる転入世帯 (健康推進課窓口等で転入手続きした人を除く。)
のびのび 計測日*1	下山児童館	19日(金)	未就園児 ※1医師の診察はありません。 特 親子(母子)健康手帳・乳児の場合はパスタール
	保健センター	24日(水)	
予 離乳食教室	17日(水)	10:00~11:30	主に第1子(4~5か月)をもつ保護者(乳児同伴可)
予 妊産婦歯科健康診査	予約してから、市内委託医療機関で受診してください。		妊婦と産後1年未満の産婦
BCG接種	12日(金)	9:15~10:15受付	H28年11月16日~H28年11月30日生
	23日(火)		H28年12月1日~H28年12月15日生
予 予防接種 医療機関で接種してください	予 ヒブ、小児用肺炎球菌		対 生後2~60月に至るまで
	予 4種混合、不活化単独ポリオ		対 生後3~90月未満
	予 麻しん・風しん混合、麻しん単独・風しん単独		対 第1期：生後12~24月未満 第2期：小学校入学前の1年間
	予 水痘		対 生後12~36月未満
	予 日本脳炎		対 1期：生後6~90月未満、2期：9~13歳未満 救済制度により対象以外で接種可能な場合あり
	予 二種混合		対 小学6年生
予 子宮頸がんワクチン		対 小学6年生~高校1年生	厚生労働省の勧告を受け、積極的な接種の勧奨を一時的に差し控えています。
成人健診 HPを見る	予 個別特定健康診査	市国民健康保険加入者で40~74歳の人	
	予 後期高齢者医療健康診査	10月31日までに市内委託医療機関で受診してください。 (H30年3月31日までに75歳になる人を含む)	
	予 胸部・胃・大腸検診 ※2	40歳以上の人 (胃内視鏡検査は50歳以上の西暦奇数年生まれの方)	
	予 前立腺がん検診	50歳以上の男性	
予 体成分分析装置測定会	随時	時間は応相談	市内在住の人

納期限(5月31日)までに納めてください

税目	納期	問合せ先
固定資産税	第1期	収納課 ☎56-0610
軽自動車税	全期	
国民健康保険税	第1期	

口座振替の人は、納期限の日に引落しますので残高を確認してください。
納付は便利な口座振替を利用してください。

休日夜間診療案内

日進市休日急病診療所

☎73-7555 (記事ID 1197)

診療時間	9:00~16:30 (昼休憩1時間あり)	HPを見る
診療科目	内科・小児科	
所在地	日進市蟹甲町中島22 (中央福祉センター内)	

夜間の急病・ケガは下記に問い合わせを

救急医療情報センター ☎82-1133

愛知医科大学病院 時間外診療

救急でかかりつけ医が開いていない場合、診療を受けることができます。
まず、電話で相談してください。
☎62-3311(代表)

まちの保健師 (記事ID 8750)

保健師が様々な場所に
出向き、健康相談を
お受けします。
気軽にご相談ください。
詳しくは市ホームページ
にてご確認ください。

HPを見る



ドクターから

あなたへ

心房細動とは

堂森グリーンロードクリニック 堂森丈正医師

心房細動とは不整脈の一種で、高齢者に多くみられます。脈のリズムがバラバラになるのが特徴で、初めは発作性から繰り返して、徐々に慢性へと移行していきます。決して稀な疾患ではなく、日本人の約60人に一人が心房細動と言われ、約半数の方は、自覚症状がありません。

高血圧や糖尿病・弁膜症・心筋梗塞の既往があるとなりがちですが、そうでなくても、高齢者で多くなり、10歳年をとるごとに約2倍の頻度で増えていきます。

心房細動の二大合併症が、脳梗塞と心不全です。脳梗塞の発症率は、健康な方の約5倍と言われ、特に高血圧を合併している場合は注意が必要です。

脳梗塞の発症のしやすさは患者さん毎にスコア化され、1点以上の方は、脳梗塞の予防薬の服用が勧められます。最近では新たな薬が出てきて、頻回の採血や服薬量の微調整、食事の制限などが不要になってきました。

また、合併症の予防だけでなく、比較的若い方には、根治的なカテーテル手術をお勧めすることもあります。逆に、高齢の方や自覚症状の乏しい方は、合併症の予防や脈拍のコントロールだけでも十分と言われており、一口に心房細動といっても症状や重症度、年齢などによって治療方針が様々です。普段から自分で脈をとって見て、気になることがあれば、まずは、お近くの内科にご相談下さい。